

“けもの”の町医者創業支援プログラムとは？ サービスの構想とねらい

獣害の専門知識がない
どこから手を付ければ
いいのか分からない

有期雇用者を雇っても、
土地にうまく溶け込めない

通常業務だけで
手が一杯！対策に
時間を割けない

協力隊が獣害対策を
生業にできず、地域
に定着しない……

新しい人を
育てる余裕も
技術もない

どこから人材を
集めたらいいか
分からない

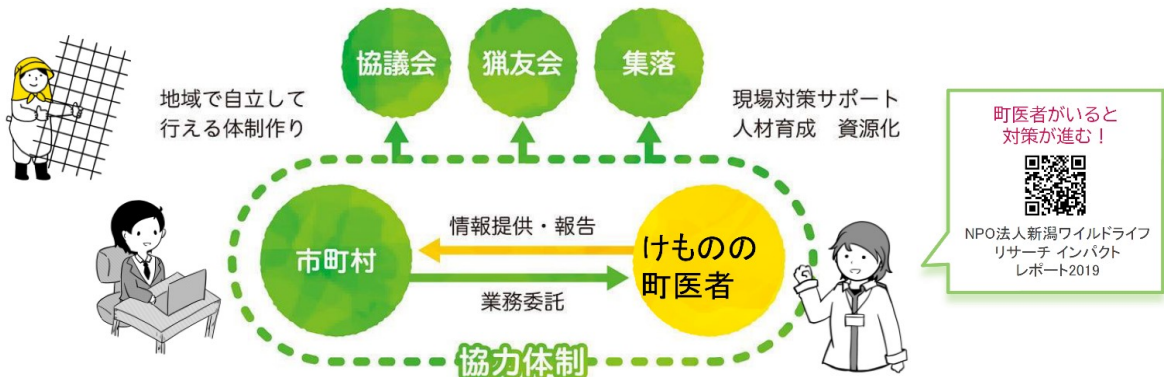
鳥獣被害対策

こんなお悩み
ありませんか？



候補者(協力隊)が獣害対策のプロとして
地域に定着するまで、ういることが支援します！

弊社が描く「獣害対策」のかたち



対策は行政職員だけでは難しいため、地域に「プロ」を作る必要があります。

行政や自治体とタイヤの両輪となって地域を支え、住民が自立して鳥獣対策が
進められるように各地へ **けもの町医者** を作る支援を行います。

詳細は裏面へ ▶

本サービスの全体像

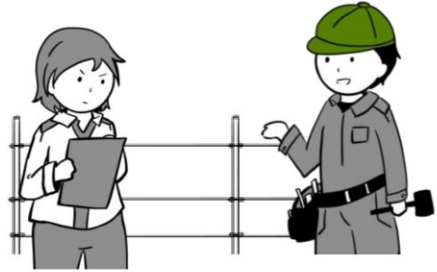
鳥獣被害は地域性が高い問題です。
このサービスでは中長期的なビジョンをもって、
地域にマッチした「けもの町医者」を育成します。



1年目

現状を知り、基礎を学ぶ

地域の状況や課題を理解し、
鳥獣被害対策の基本を学びます。
課題解決へのコンサル
&必要な技術を指導します！



2～3年目

地域で活躍する準備

担い手の個性や地域の特性を
活かして地域で自立するための
準備を進めます。
地域おこし協力隊制度をうまく
活用しながら計画的&戦略的に
人材を育成します！



4年～

町医者として定着

担い手はういるこのパートナー
として自立し、地域で“鳥獣被害
対策のプロ”として活躍。
対策支援の事業化に必要な準備を
アドバイスします。
自立した後も、ういるこがパート
ナーとして支援します。



事例紹介

農林水産省 鳥獣対策優良活動表彰
R3農村振興局長賞(被害防止部門) 受賞
新潟鳥獣警備 **波多野 健治 氏**

私が獣害対策に関わり始めた頃は、意識に温度差のある住民と接することが大きな悩みでした。そのような状況で山本(ういるこ代表)の講演会に初めて参加して、学術的な知識と地域の問題(過疎高齢化など)を見据えた長期的な対策のビジョンに感銘を受けました。

今では、学術的な知識と現場の両方を
バランスよく理解し、対策に取り組むことが
対策ではとても重要だと考えています。



お問い合わせ

株式会社ういるこ



☎ 0258-86-0880

✉ info@wilco.company

／ウェブでのお問い合わせはコチラ／



4年間で約6000万円の鳥獣被害を減少*。
現場対応に基づくノウハウを、全国にお届けします。

2018年に誕生した弊社の前身は、2014年から地元
新潟で鳥獣被害対策を支援してきたNPO法人です。

※NPO法人新潟ワイルドライフリサーチ インパクトレポート2019参照